

週間感染症情報

25週 26週 27週

2026年25週～27週 2026年6月1日より2026年6月14日まで

麻疹			
風疹			
水痘(みずぼうそう)	1		
ムンプス(おたふくかぜ)			
百日咳			
溶連菌感染症	12	8	8
手足口病	44	49	45
ヘルパンギーナ	17	10	15
伝染性紅斑	1	1	
感染性胃腸炎	37	28	35
ロタウイルス(再掲)			
ノロウイルス(再掲)			
便アデノウイルス(再掲)	1		
突発性発疹	7	0	3
伝染性膿痂疹(とびひ)	4	11	2
ヘルペス性口内炎			
アデノウイルス感染症	3		4
RSウイルス感染症			1
マイコプラズマ感染症	1	4	3
ヒトメタニューモウイルス		2	
インフルエンザ	1		
インフルエンザ A	1		
インフルエンザ B			
新型コロナウイルス感染症	3	2	1

遅くなりましたが3週間分の報告です。25週にインフルエンザAが1例ありました。新型コロナウイルス感染症は海外からの帰国例が2例ありました。夏休みに入り、海外も含めて人の交流も増えてきます。今後、流行が危惧されます。

手足口病・ヘルパンギーナなど夏のウイルス感染症が増えてきました。手足口病は左下のグラフのように、2024年以降の流行です。当院の集計では3歳以下が2024年(65%)、2026年(90%)、同じウイルスが流行しているのでしょうか？

右のグラフは麻疹の報告数の推移です。麻疹は感染力が強く、特別な治療法はありません。高熱が1週間続き、肺炎など合併症を起こし、現在でも1000人に一人は亡くなります。2026年は、26週までに545例と、2025年から増加が続いています。今後、夏休みにかけて海外からの輸入例が心配されます。

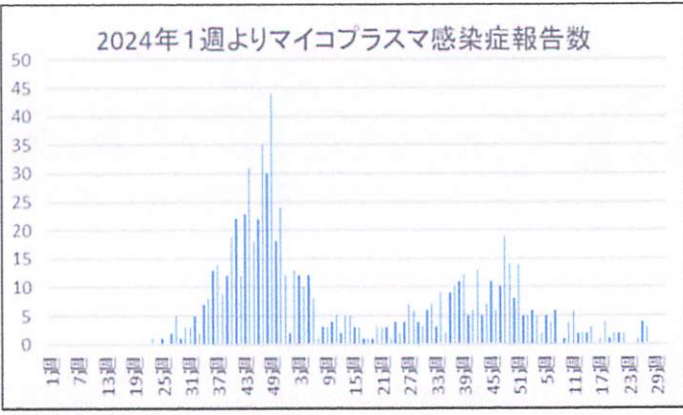
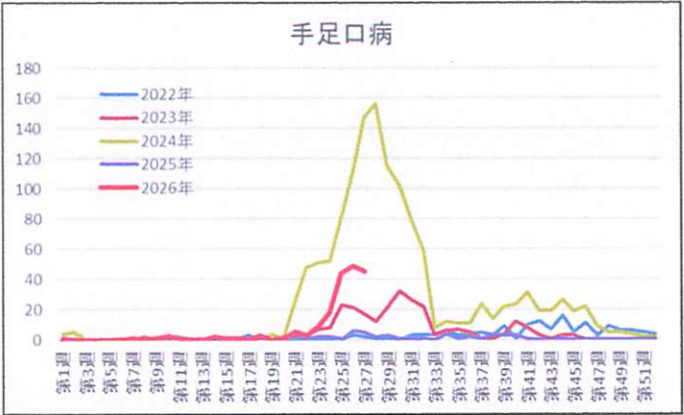
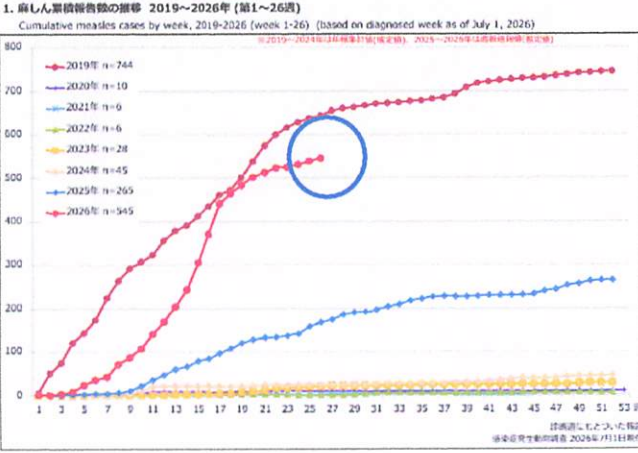
麻疹はワクチンで予防できる病気です。接種歴を確認しましょう。

年長さんは夏休みまでにはMRワクチンを接種しましょう。

感染性胃腸炎では、細菌性胃腸炎の報告が増えています。

右下のグラフのように、マイコプラズマ肺炎の報告は続いています。

熱がなくても咳をしている場合は、マスクの着用をお願いします。手洗い・換気に努めて下さい。



(感染情報については当院のホームページでもご覧になれます。 <http://miyakenaika.com>)